事業所名		放課後等デイサービスOasisぷらす	支援プログラム		作成日	令和6年	9	月	1 日
法人(事業所)理念		子どもの発達の支援及びこれに携わる人材の育成を通じて将来を担う子どもの健全な育成を図るとともに一人一人が自立した社会生活を営むことができる社会の実現を目指します。							
	支援方針	日常生活・社会生活を総合的に支援するために自立に向けての適応能力を見につけていく。							
営業時間		平日 土・長期休暇 8 時 30 分から	18 17 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり なし				
		支 援 内 容							
	健康・生活	○健康状態の維持・改善 ○生活のリズムや生活習慣の形成 ○基本的生活スキルの獲得 検温・表情にて健康観察 食事・身だしなみ・排泄・衣類の着脱・入浴・準備/片付けなど自立活動							
本人支援	運動・感覚	○姿勢と運動・動作の向上 ○保有する感覚の総合的な活用 ラジオ体操やストレッチ、ウォーキングなどの基礎運動、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持、バランスボール、トランポリンを用いての体幹トレーニング等で運動・動作の改善 および習得、筋力の維持・強化を図る。 保有する視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用できるよう公園の遊具や器具を使った遊び、サーキット、縄跳び、ボールを使って体の動かし方や強弱の力加減、リズム打ちや踊りが苦 手でも楽しめるよさこいソーラン、調理実習を通しての食育、水遊び、粘土遊び、はさみやのり、ペンや色鉛筆、絵の具、墨を使った制作活動を行う。							
	認知・行動	○認知の発達と行動の習得 ○空間・時間・数等の概念形成の習得 ○対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 ○行動障害の予防及び対応 始まりの会において日付、曜日、天気の確認 色分け、仲間分け、資源ごみの分別、袋詰め、紐通しなどの作業訓練、制作や輪投げ、玉入れなど様々な活動を通して数量、大小、色、形などの概念の習得、折り紙やブロック、ボールを 用いて空間認識能力を鍛える。 小麦粉粘土作りによる物質の変化や感覚の発達を促す支援、花見や紅葉、初詣など季節を感じる外出、じゃがいもやさつまいもの収穫体験、自然物を利用した工作などの機会を作る。 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生じる行動障害の予防及び適切行動への対応の支援							
	言語 コミュニケーション	〇言語の形成と活用 〇言語の受容及び表出 〇コミュニケーションの基礎的能力の向上 言葉によるコミュニケーションだけでなく表情や身振り手振り、写真、絵カード、ひらがな表を用いて意思のやりとりで相互理解を図る。 指示の理解に関する活動、しりとりや読み聞かせを行い、言語能力や読解力、語彙力、コミュニケーション能力の向上を目指す。 終わりの会で1日を振り返り、皆の前で発表するなど言語を表出する機会を作る。							
	人間関係 社会性	○他者との関わり(人間関係)の形成 ○情緒の安定 ○自己理解と行動の調整 ○仲間づくりと集団への参加 あいさつ、ルールやマナー、感謝、謝罪などの基本的な社会生活スキルの向上。社会資源を活用し、公共の場所でのマナーや過ごし方、買い物学習、公共交通機関の利用などの活動を通し て社会生活スキルを身に付ける。できることは自分で、できないことは人の助けを借りるなど状況に応じた行動ができるよう支援する。ペア活動や小集団ゲームを通して相手や仲間を意識 し、協調性や思いやりの心を育てる。							
家族支援		○家族からの相談に対する適切な助言等 個別面談の実施(事業所内または家庭訪問) 随時、家族の子育てに関する困りごとに対する相 家族のレスパイトの時間の確保や就労等による預 長支援 保護者同士の交流の機会(ランチ会)の提供		移行支援	〇ライフステージの切り 生活介護事業所や障害者 地域社会の中で積極的に し、集団活動を行う。	就労継続支援事業	美所の見学	2・体験	
地域支援・地域連携		〇通所する子どもに関わる地域の関係者・関係機主に学校と情報共有し、子どもの心身の状況や生統一を図る。		職員の質の向上	各種資格の取得、権利擁 動障がいに関する研修、 職員間での意思の疎通と 共有、職員同士のコミュ	支援に関する職員情報共有、支援に	員のスキル 二対するケ	ノアップの 「一ス会議	ための研修、 と支援内容の
主な行事等		・誕生日会 ・じゃがいも、さつまいも掘り ・花見、夏祭り、クリスマス会、御首神社に初詣など一年を通して季節に合わせた行事 ・三社合同交流会 他							